

# 令和4年度 食育に関する取り組み一覧

資料1

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】小牧市 健康生きがい推進課 松浦 裕子																
【E-mail】 kenkoikigai@city.komaki.lg.jp																
事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて豊かな身体をつくらう				基本目標2 食を通じて豊かな心を開くよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		事業内容
	園児	小中学生	一般市民	増加日朝食を食べる人の	思自分の食生活がよいと	て自分の週の増体加量を知っ	べよく人の増で加味わって食	る食事が楽しいと回答す	いさつさつをすますなどの増加あこ	実郷土料理を年1の増以上	い地元産の増材を購入して	か食った人の増しをしま	増自宅で作る人の増を減	人の「食育」を知っている	増や「食育」に関する人の動	
ドライブスルー型「フードドライブ」の実施			◎									○		○	○	家庭で不要となった食品を集め、小牧市善意銀行へ寄附し、食品ロスの削減・生活困窮者支援、食育の推進を図った。
子ども食堂運営の支援	○	○	◎											○	○	社会福祉協議会等関係機関と連携して支援を行った。愛知県への補助金申請の支援、寄附等支援団体との仲介などを行った。
こまき食育応援団（サポーター）の活動への支援	○	○	◎											○	○	小牧市生活改善実行グループ連絡研究会と連携し、小牧産のお米を使用した「飾り巻き寿司教室」を開催予定であったが、コロナの影響により開催中止となった。
食育月間について広報・ホームページに掲載、庁内職員用PCに掲載及び、ポスター掲示			◎											○	○	
給食だよりの発行		○	○	○										○		
食に関する指導		○		○	○			○						○		学校給食を通じてより効果的な食育を進めている。
学校ホームページによる啓発		○	○											○		
学校給食における地場産物や郷土料理の活用		○								○	○			○		天候や生産者の減少により量の確保が難しいが、「あいちを食べる学校給食の日」などの機会を捉えて積極的な提供を心掛けている。
【課題・問題点】 学級活動や家庭科、総合的な学習で児童生徒に直接話す食育を実施しているが、クラス単位での実施となるので限られた数となっている。																

# 令和4年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】小牧市 健康生きがい推進課 松浦 裕子																
【E-mail】 kenkoikigai@city.komaki.lg.jp																
事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		事業内容
	園児	小中学生	一般市民	増毎日朝食を食べる人の増加	思自分の食生活がよくなる人の増加	て自分の適正体重を知っている人の増加	べよく噛んで味わって食べる人の増加	る食事が楽しいと回答する人の増加	い「いただきます」「ごちそうさます」などの挨拶の増加	実地土料理している年1回以上の増加	い地元産の食材を購入している人の増加	か食った人の増加をしながら	培自宅で食べる人の野菜消費量の増加	人「食育」を知っている人の増加	増や「食育」に関する人々の活動の増加	
給食残渣のリサイクル処理		○										○		○		
ユニバーサル給食の実施		○							○			○			アレルギーの原因となる食材を避けたユニバーサル給食を提供することにより、アレルギーの有無にかかわらず児童生徒が同じ給食を食べることができた。食物アレルギーへの理解を深めるとともに、みんなで楽しく食事をすることができた。	
市民菜園事業（藤島・池之内）			◎										◎	○	○	農業従事者以外の者が耕作をすることにより、農業に対する理解を深めることができるよう、市民菜園の貸付を行った。
地元野菜の販売（蔬菜研究会）	○	○	◎								◎			○	○	地場野菜の消費拡大を推進するため、蔬菜研究会による野菜の販売を各種イベント時に実施した。
農作物の品評会・即売会（農業祭実行委員会）			◎								◎			○	○	農産物の生産技術・生産意欲の向上のための農業祭実行委員会による品評会の開催、および出展作物の即売を行った。
【課題・問題点】																
● 蔬菜研究会：会員の高齢化																
● 農作物の品評会・即売会：出品点数の減少																

## 令和4年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】小牧市 健康生きがい推進課 松浦 裕子																
【E-mail】 kenkoikigai@city.komaki.lg.jp																
事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		事業内容
	園児	小中学生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思える人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事の楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさすまじい」などの増加	実施して理にかなった年1回の増加	地元産の食材を購入している人の増加	食事の食べ残しを減らした人の増加	自宅で作る野菜の増加	「食育」を知っている人の増加	「食育」に関する人々の増加	
歯みがき教室	◎		○	◎	○		○	○				○		○		市内保育園で食の健康教育として「早寝早起き朝ごはん」をキーワードにエプロンシアターを行い、望ましい食習慣の確立を目指す。
パパママ教室			◎	○	◎	○		○	○					○		妊婦を対象に、妊娠中のバランスのよい食事、気を付けるべき食習慣、望ましい体重増加について学ぶ。自身の食事を見直し、家族、生まれてくる子の離乳食、幼児期の望ましい食生活についても意識を発展する。
離乳食教室			◎	○	○	○	○	◎	○					○		離乳初期、後期の望ましい食生活について学ぶ。コロナ禍のため、試食は中止。離乳の開始から幼児食へのステップアップの仕方の説明。また保護者の困り感について質疑応答も行う。
ヤング健診結果説明会			◎	○	○	◎	○									生活習慣病予防について、ヤング健診受診者に個別で健診結果に応じた相談を行う。
自分・家族の健康を考える食生活講座 (ヘルスマイト養成講座)			◎	○	○	○	○	○						○	◎	全6回の講座を通じて食の大切さを伝え、受講者から家族、地域へと望ましい食習慣を伝えていく。幼少期から成人期、高齢期とライフステージに合わせた食事、また生活習慣病やフレイルなどの病態についても学ぶ。「ヘルスマイト」養成を兼ねる。
【課題・問題点】																

## 令和4年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】小牧市 健康生きがい推進課 松浦 裕子																
【E-mail】 kenkoikigai@city.komaki.lg.jp																
事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな体をつくろう				基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		事業内容
	園児	小中学生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思える人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事の楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさます」などのあいさつをすまじなす人の増加	実施している年1回の増加	地元産食材を購入している人の増加	食卓の食べ残しを減らす人の増加	自宅で食べる人の野菜の増加	「食育」を知っている人の増加	「食育」に関する活動の増加	
生活習慣病予防相談			◎	○	◎	○	○									生活習慣病予防について広く市民に周知し、希望者に個別無料相談を行う。保険医療課と連携し、糖尿病性腎症重症化予防が必要な方に対しては個別通知を行っている。
健康日本21こまき計画推進部会 (栄養・食生活部会)		○	○	○	○	◎	○	○						○		市内全小学5年生に、自身の体格を知るリーフレットを配布。また働き世代へはヤング健診受診者に対し、自作小冊子「スタイルアップ大作戦」を配布し、自身の健康について家族で振り返るきっかけをつくる。
【課題・問題点】																

# 令和4年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】尾張中央農業協同組合 石原沙彩																
【E-mail】einoshido@ja-owari-chuch.or.jp																
事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		事業内容
	園児	小中学生	一般市民	増え続ける朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思える人の増加	自分の正しい食生活を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさまです」などの挨拶をする人の増加	「いただきます」「ごちそうさまです」などの挨拶をする人の増加	実地体験して理を年1人の増加	地産食材を購入して利用する人の増加	食生活の改善を促す人の増加	自宅での食生活の改善を促す人の増加	「食育」を知っている人の増加	
親子で農業体験		◎				○		○					○		○	年間3回に分け、親子で農業体験を開催
三ツ瀨小学校 野菜栽培体験		◎		○							◎				◎	野菜の苗(ナス、エダマメ、トウモロコシ、キュウリ、ミニトマト)を配布し栽培を学ぶ。(先生の農業に関する指導も必要)
北里小学校 野菜栽培体験		◎		○							◎	○	○		◎	野菜の苗(ミニトマト、オクラ、ナス、ピーマン、エダマメ)を配布し栽培を学ぶ。(先生の農業に関する指導も必要)
小牧小学校 野菜栽培体験		◎		○							◎	○	○		◎	野菜の苗(ナス、エダマメ、オクラ、ピーマン、ミニトマト)を配布し栽培を学ぶ。(先生の農業に関する指導も必要)
米野小学校 野菜栽培体験		◎		○							◎	○	○		◎	野菜の苗(ミニトマト、ピーマン、オクラ、ナス、エダマメ、キュウリ)を配布し栽培を学ぶ。(先生の農業に関する指導も必要)
陶小学校 野菜栽培体験		◎		○							◎	○	○		◎	野菜の苗(ナス、キュウリ、オクラ、ミニトマト、ピーマン、エダマメ、パプリカ)を配布し栽培を学ぶ。(先生の農業に関する指導も必要)
三ツ瀨小学校 稲作農業体験		◎		○							◎	○			◎	お米の大切さ食と農に関する関心を高める、働く喜びを感じることを目的とする。
篠岡小学校 桃収穫体験		◎		○							◎				◎	ももの収穫体験
陶小学校 桃収穫体験		◎		○							◎				◎	ももの収穫体験
ひまわり幼稚園 サツマイモ収穫体験	◎			○							◎				◎	さつまいも収穫体験
小牧中学校 桃調理実習		◎		○							◎	○			◎	ももを調理部に寄贈し、調理実習の開催
本庄小学校 大豆栽培と豆腐づくり体験		◎		○					○	○				○	◎	大豆栽培から豆腐作りまで
篠岡小学校 大豆栽培と豆腐づくり体験		◎		○					○	○				○	◎	大豆栽培から豆腐作りまで

# 令和4年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】尾張農林水産事務所 農政課 主幹 佐藤英治																
【E-mail】																
事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて豊かな身体をつくる				基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		事業内容
	園児	小中校生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思える人の増加	自分の正しい増量を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさまです」「いただきます」の増加	郷土料理を味わっている人の増加	実地体験している人の増加	地元産の食材を購入している人の増加	食卓の食の増加	自宅で食べる人の増加	「食育」を知っている人の増加	
食育推進ボランティアの募集			○			○									◎	・食育推進ボランティアの募集(6月) ・令和5年2月末現在 登録者数(尾張地域304名 うち小牧市3名)
地域食育推進ボランティア研修交流会			○												◎	・令和5年2月末現在 登録者数 尾張地域 304名(うち小牧市3名) ・食育推進ボランティア研修交流会(11月)
小学校の農林漁業体験学習の推進 (「学校での農林漁業体験学習に係る地域協力者一覧」の送付、更新)		○						◎		○	○					・「学校での農林漁業体験学習に係る地域協力者一覧」、啓発チラシを送付。農林漁業体験学習導入の推進を依頼(4月) ・「市町・農業協同組合農政担当部長会議」において積極的な導入に向けた協力を依頼(6月) ・「地域協力者一覧(更新後)」を送付し、農林漁業体験学習の積極的な導入を依頼(12月)
食育劇「食まるファイブ」上演の支援 (小学校等への資料貸与、シナリオ提供)		○		◎	○	○	○									・食育劇上演支援 2回(10月)
Webページ「食育ネットあいち」の更新(随時)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	・Webページに食育イベントの情報を掲載
いいともあいち運動の推進(推進店等募集、地域サロン開催、SNSによる情報発信)			○													・いいともあいち運動SNSへの記事掲載8回(令和5年2月末現在) ・いいともあいち推進店180店(令和5年2月末現在) ・いいともあいち地域サロン(11月)
学校給食への県産農産物の利用促進		○													◎	・学校給食県産農産物利用促進に関する意見交換会(12月)
「第17回食育推進全国大会inあいち」の開催			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	・Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)(6月18日~19日)
<b>【課題・問題点】</b> ・食育推進ボランティアから食育を学んだ人数の増【食と緑の基本計画2025尾張地域重点推進プラン目標(25,056人/年(2019)→28,000人/年(2025))】 ・農林水産業に関わるイベント参加者数の増【食と緑の基本計画2025尾張地域重点推進プラン目標(13,146人/年(2019)→13,500人/年(2025))】																

## 令和4年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】桃ヶ丘小学校 森川美千代																
【E-mail】																
事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健康的な身体をつくる				基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		事業内容
	園児	小中学生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思える人の増加	自分の適正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさます」など「いただきます」の増加	実地土し料理を年1回増加	地元産の食材を購入している人の増加	食卓の食への増加をしない	自宅で食べる人の野菜増加	「食育」を知っている人の増加	「食育」に関する活動の増加	
学校教育における健康教育・食育指導		○		○	◎		○	○	○		○		○	○	食育担当者はもちろんのこと、各担任が、食育指導を重ねていくための指針として、市内の全小中学校で、食に関する指導の年間計画を作成。食育推進委員会も設置している。	
学校における農作物作り体験の推進		○			○			○	○		◎	○	○	○	学校によって、野菜栽培や田植え、桃の収穫や栽培した大豆を使った豆腐づくりなどの体験を、JAや地域の方の協力を得て行っている。本校でも、樹木医さんのご協力により、桃作り体験を継続している。(毎年3年生で実施)	
学校給食を通じたコミュニケーションの促進		○						◎	○		○		○	○	コロナ禍のため全員が前を向き、黙食だったが、規制緩和を受け、黙食をやめ、状況に応じて机の向きも変えながら、少しずつコロナ禍前の状態に戻つつある。	
学校給食を通じた食育活動の普及啓発		○			○		○	○	○	○	○		○	◎	栄養教諭や栄養職員が、各校へ出向き、食に関する指導を行っている。SDGsを意識して、残飯が少ないクラスの配膳の仕方を給食委員会が全校に紹介している学校もある。	
PTA・他機関との連携		○	○	○	○		○	○	○	○		○	◎	○	PTA給食試食会、ヘルスメイトによる授業支援など、食に関わる活動がコロナ禍で実施できない年が続いたが、少しずつ計画を元に戻し始めている学校が出てきている。	
【課題・問題点】																
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症対策が緩和されてきているとはいえ、多くの児童生徒を預かる学校としては、安易に緩和の方向へ進めない現状がある。保護者の中にも、緩和を望む家庭と、感染対策を望む家庭とが混在している。社会情勢を見ながら、各校の感染状況を見て対応していくしかない。</li> </ul>																

# 令和4年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】小牧市立三ツ淵保育園 熊澤嘉乃																
【E-mail】																
事業名	対象年代			基本目標1 食を通して豊かな身体をつくろう				基本目標2 食を通して豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通して環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		事業内容
	園児	小中学生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	思っている人の食生活がよいと増加	自分の週正体重を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が増えたと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさます」「なす」などの増加	実地土料理を年1回の増加	地元産の食材を増加購入して	食事の食への増加をしながら	自宅で食べる人の野菜増加	人の「食育」を知っている増加	「食育」に関する活動の増加	
野菜の栽培 (野菜の栽培を通して、食への興味関心や豊かな心を育てる。)	◎							◎	○							地域の方の指導をいただきながら畑や園庭で15種類の野菜を栽培、収穫物を園で調理し味わった。年長組は家庭に持ち帰り親子で調理して食べる経験ができるようにした。年長組保護者へのアンケートでは75%の回答があり、関心は高い。卒園後も継続して経験できるように年長組の希望家庭には、園で増えたイチゴ苗を配布した。
【課題・問題点】 園で子どもたちから聞く話では、子どもだけで食事をしている孤食や朝食は「菓子パンとジュース」が多いように感じられます。さらに食育への関心を高めていけるよう、来年度も家族で調理して食べる楽しさを感じられるような経験ができるように計画して行きたいと考えています。																



# 令和4年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 桃花台ひまわり幼稚園																
【E-mail】																
事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		事業内容
	園児	小中学生	一般市民	毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと思える人の増加	自分の酒の正体を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	「いただきます」「ごちそうさます」などの増加	「いただきます」「ごちそうさます」などの増加	実施して理人1回の増加	地元産食材を購入している人の増加	食事の食べ残しを減らす人の増加	自宅で食べる野菜の増加	「食育」を知っている人の増加	
米作り（田植え～脱穀）	◎							○	○			◎		○	○	田植え、稲刈り、脱穀をし、その米を使い、もちつきをした。
野菜づくり（トマト・ナス・キュウリ・サツマイモ・ゴーヤ他）	◎							○	○			◎	○	○	○	苗から育て、収穫をし、食べた。さつまいもは、やぎいもをして食べた。
【課題・問題点】 コロナ禍がおさまれば、もっと保護者参加を増やしていきたい。																

# 令和4年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

小牧市食生活改善協議会 松浦康子 takvasu@star.ocn.ne.jp																
事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくらう				基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		事業内容
	園児	小中学生	一般市民	増毎日朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいた	自分の酒正体量を知っている人の増加	よく噛んで味わって食べる人の増加	食事が楽しいと回答する人の増加	「いただきます」などの挨拶をする人の増加	実施している年11回以上の郷土料理を年11回以上実施している人の増加	地元産野菜を購入する人の増加	食った人の増加	目標としている人の野菜を親目宅で食べる人の増加	「食育」を知っている人の増加	増や「食育」に関する活動をしていく人の増加	
生涯骨太クッキング			◎	◎	◎		◎	◎	○					○	○	骨粗鬆症予防のための知識の啓発と調理
シニアカフェ			◎	◎	◎		◎	◎	○					○	○	フレイル予防のための知識の啓発と調理
地区健康展(幅下地区)			◎	○	○	○								○	○	野菜の手ばかり。塩分摂取の減少を野菜の摂取が助けることを知らせる。味噌汁の塩分測定で適正塩分を知る
いきいき小牧(グリーンセンターにパネル展示を依頼)			◎	○	○						◎					自主活動で秋花合グリーンセンターにパネルを複数展示(緑黄色野菜と淡色やさいの比率の提示)野菜の売り上げにも貢献するかも。愛知県は野菜の摂取量があと一皿分少ないので増やしたい
パパママ教室で塩分測定			◎	○	○											これから育児をする若い世代に塩分に対して正しい知識を持ってもらう
ワクティブ小牧で野菜の手ばかりと飲料の糖分比べ			◎	○	○									○		糖尿病予防のためペット飲料の糖分の多さに気付いてもらう。一日の野菜の摂取目安を知ってもらう
福祉展にて野菜の手ばかりと飲料の糖分比べ			◎	○	○									○		糖尿病予防のためペット飲料の糖分の多さに気付いてもらう。一日の野菜の摂取目安を知ってもらう
市内小学校家庭科補助		◎	○													調理の基本をサポートする。予定未定
親子の食育教室		◎	○	○										○		子どもには楽しく調理することを伝える。親には栄養バランスの大切さを示す。コロナで中止
ハピカピック	○	○	○				○									よく噛んで食べることの大切さ、硬いものを噛むことの大切さを知らせる。コロナで中止
ヘルスサポーター21(小牧・光が丘)		◎	○	○	○				○							中学生に調理の基本を教える。バランスの大切さを教える。再開できるか不明
広報こまき「ヘルスメイトのおすすめレシピ」年6回掲載			◎	○	○		○	○								作ったよ、簡単だったと嬉しい声をいただいた。広報が月1回になると紙面の関係でどうなるか不明。
ふれあいサロンいきいきサロン 味岡児童館事業参加	○	○	○													伝承料理を児童館でお伝えしている。地域の高齢者の憩いの場所の提供。フレイル予防の食事の提言
その他の課題・問題点 会員の高齢化・コロナでスキルの低下 野菜の摂取が塩分のコントロールにつながること・高血圧予防やがん予防に塩分をへらすことを提言したい。対話・対面でお話する機会を増やしたい																



## 令和4年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】小牧市生活改善実行グループ連絡研究会 石田 昭代																
【E-mail】																
事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくろう				基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		事業内容
	男	小中学生	一般市民	増	自	て	へ	る	い	実	い	か	自	人	増	
市民講座「親子料理教室」		◎	◎				○	○	○		○			◎	○	飾り巻き寿司「カエル」を作る予定であったが、講師が濃厚接触者となり中止
焼き肉のタレ作り			○					○	○					◎		手作りの良さを実感する
<b>【課題・問題点】</b> ・コロナ禍で人数制限があるため、多くの人に声かけができなかった。 ・市民講座の講師は1人ではなく、交替要員を決めておく必要がある。																